

しおいり版

Shioiri 版

鈴木かんたろうの
オススメ「祭り特集」



東京都議会議員
公明党荒川総支部長
鈴木かんたろう
ホットな情報更新中
▶ Web
www.kantarou.net
▶ Facebook
kantarou.suzuki.73



シオッピー
(しおいりナビゲーター)
チキウジンの調査で、
汐入にやってきた宇宙人。
頭のアンテナで地域の
情報をキャッチする!

新緑が勢いよくその芽を伸ばす頃、荒川区は各地域で行われる祭りで、下町らしい熱気に溢れています。

今回は、毎年、5月から8月にかけて各地で行われる夏祭り、中でも汐入周辺で行われる祭りについて特集をします。

この機会に、下町の活気を堪能してみてください!

その他の祭り

八幡神社例大祭

8月上旬は、八幡神社の例大祭が行われます。4年に一度の大祭は、神幸祭と呼ばれています。

◇開催日

平成25年

8月3日(土)、4日(日)

◇所在地 荒川区西尾久3-7-3

◇連絡先 03-3893-1535

諏方神社例大祭

8月の下旬は、諏方神社の例大祭が行われます。3年に一度の大祭は、「御神幸祭」と呼ばれています。

◇開催日

平成25年8月24日・25日、
27日(大祭式)

◇所在地 荒川区西日暮里3-4-8

◇連絡先 03-3821-4275

さあ祭りだ。

下町は
おまつりが
いっぱい!



こらく 胡録神社 例大祭

6月1日(土) / 大祭式
2日(日) / 本社神輿渡行



胡録神社は、3年に一度、例大祭が開かれます。

汐入の地は、戦国時代に上杉謙信の家臣高田嘉左衛門らが、川中島の合戦の際に落ちのびて開発したと伝えられるところで

す。明治以前「第六天」と呼ばれた胡録神社は、汐入の境である当地を守護するために祀られたとされています。

明治の中頃まで人形の上塗り顔料の胡粉(ごふん)の製造が盛んで、昭和27年(1952)に胡録神社に奉納された襖絵には、山と積まれた牡蠣殻が描かれ、往時の面影をしのぶことができます。

◇所在地

荒川区南千住八丁目5番6号

◇連絡先

03-3806-1673

(受付:9時-16時)

すさのお 素盞雄神社 天王祭

6月3日(日) / 大祭式
8日(土)、9日(日) / 氏子まつり



三年に一度の大祭では、担ぎ棒二本の二天棒で千貫もある神輿を、左右に振りながら担ぐ神輿振りが見られます。

素盞雄神社は区内で最も広い地域(町屋地区・南千住地区・三河島地区)の61カ町に氏子を持つ神社です。

この素盞雄神社のある千住は、松尾芭蕉が「奥の細道」の旅へ出発した地点として知られ、「奥の細道」

には「千じゆと云所にて船をあがれば前途三千里のおもひ胸にふさがりて幻のちまたに離別の泪をそぐ」と記されています。

この時芭蕉が詠んだ「行く春や鳥啼き魚の目は泪」の矢立初めの句碑(松尾芭蕉の碑)が境内にあります。

◇所在地

荒川区南千住六丁目60番1号

◇連絡先

03-3891-8281

いしはま 石浜神社 例大祭

5月25日(土)、26日(日)



一年おきに開催される石浜神社の本祭りは、各町会を神輿が渡御し、最終日の日曜日は本社神輿が繰り出

されます。

神亀元年(724)、聖武天皇の命によって創建されたと伝えられる石浜神社。源頼朝・千葉氏・宇都宮氏らの崇拝を受けたと言われ、参道にある第一鳥居(参道入り口手前)は、安永8年(1779)に、第二鳥居(参道



お祭りは、地域の
人と親交を深める
チャンスです!
積極的に参加し
て、下町風情を味
わって下さい!

の奥)は、寛延二年(1749)に建立されました。神明造りと言われる建築様式で、それぞれ区の有形文化財に登録されています。

◇所在地

荒川区南千住三丁目28番58号

◇連絡先

03-3801-6425



都立汐入公園に BBQ広場を設置

Before
殺風景な水辺環境

After
家族・友人と 休日をエンジョイ!



休日、親子連れなどに大人気のバーベキュー広場。当初の計画では都立公園の規模が小さいとして、設置することは難しいと言われていました。そこで、要望を受けた鈴木かんたろうが「親子で楽しめる場が必要だ」と働きかけ、不可能と思われたバーベキュー広場の設置を実現しました。

平成22年



が立ち並び、水と緑が輝く「住みたい街・汐入」へと姿を変えた。

この過去に類を見ない規模の再開発事業に、長きに渡って関わり続けた都議会議員・鈴木かんたろう。良き伝統はそのままに、災害に強い安心・安全の街づくりを……。鈴木かんたろうが汐入に残した実績を紹介します。

汐入はこんなに便利になりました!

隅田川に囲まれた汐入は、交通不便な「東京のへき地」と揶揄されていたことも。しかし長い歳月を経て、この街は中・高層の集合住宅が立ち並び、水と緑が輝く「住みたい街・汐入」へと姿を変えた。

かつて汐入村といえば、江戸時代より続く「汐入大根」の名産地として知られた農村だった。もとをたどれば、戦国時代末期に上杉謙信の家臣が移り住み、この二帯を開発したことが始まりと伝わる。



昭和59年

コミュニティバス「汐入さくら」開通 交通不便を解消!



Before
隅田川に囲まれ、交通が不便

After
どこへ行くにも 気軽に移動

コミュニティバス「さくら」の開通は、一人の女性の訴えがきっかけでした。「地域を細かく回るような『ミニバス』を汐入にも通してもらえないかしら……」。即座に関係各所へ状況説明を開始。交通不便の地・汐入住民の願いでもあった「さくら」の開通を実現しました。

悲願だった 総合病院を誘致



Before
バスや電車を乗り継いで遠くの病院へ

After
入院・救急医療が可能な、リバーサイド病院が完成

東京リバーサイド病院オープン以前は、汐入には診療所があるのみで、入院ができ、救急医療が可能な総合病院がありませんでした。まさに、総合病院誘致は住民の悲願。しかし、先行していた計画は話がまとまらず頓挫し、実現は遠のいたかと思われました。

鈴木かんたろうは、町会とともに呼びかけを継続し誘致に成功。「生命を守る」リバーサイド病院が誕生したのです。

ララテラス出口にバス停を新設

Before
最寄りの停留所まで荷物を抱えて数百メートル

After
レジから停留所まで楽チン30秒

以前、「ララテラス」付近にバス停はなく、数百メートル先の最寄りのバス停留所まで荷物を抱えて歩いていかなければなりませんでした。

関係会社に直接出向いて交渉した結果、ララテラス出口すぐに「ドナウ通り」バス停留所の新設が決定しました。これには買い物客も大喜び。多くの人々が利用しています。

荒川区役所5階 公明党控室 ☎ 03-3802-3111 内線 3636・3637

暮らしの 相談窓口

都議会議員

鈴木かんたろう

区議会議員

萩野 勝 中村尚郎 保坂正仁
吉田 詠子 松田智子 菊地秀信

